

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-01		
施設名	区民会館（サンパール荒川）				
所在地	荒川一丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和50年	1,950,000			
増改築①	平成4年	1,540,000	0	0	1,540,000
増改築②	平成27年	2,460,000	110,000	1,940,000	410,000
併設施設					
竣工年月日	昭和50年3月26日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和50年3月26日		職員数	39	0
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造		階層	地下1階、地上6階	
面積	敷地面積		4279.01㎡		
	延床面積		10044.09㎡		
設置目的・経緯	区民の文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図るため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区民会館条例				
駐車場の状況	20台	バリアフリー 対応状況	●エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	197台		●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株)ケイミックスパブリックビジネス	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○会館の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び一般市民					
運営時間等	運営時間	午前9時から午後10時まで				
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日				
施設基本データ等		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（見込み）
	大ホール年間利用者数（人）	0	146,277	156,510	149,169	150,652
	小ホール年間利用者数（人）	0	56,815	53,329	60,189	56,777
	集会室年間利用者数（人）	0	74,476	80,518	73,225	76,073
	大ホール貸出稼働率（%）	0	55	63	61	56
	小ホール貸出稼働率（%）	0	56	55	60	56
	集会室貸出稼働率（%）	0	37	41	42	39
	文化芸能のイベント数	0	226	252	241	241
に指定管理 等 費用	指定管理料（千円）	37,133	154,850	171,780	159,404	164,036
	指定管理者の支出合計（千円）	39,725	223,362	243,479	221,236	236,077
	指定管理者の人件費（千円）	21,458	59,075	64,952	35,987	40,647
	指定管理者の利用料金収入（千円）	0	65,887	75,235	76,261	67,391
備考	平成27年度は大規模改修のため1年間休館（受付機能は移転して継続したため人件費等は発生）					

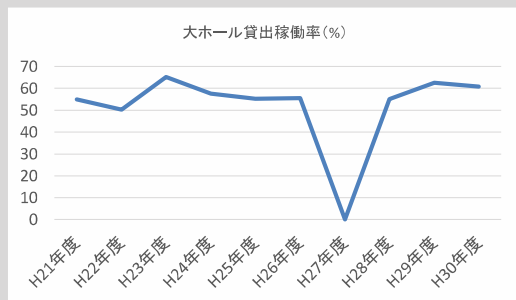
III 財務諸表

		勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	0
		物件費	167,673	185,545	17,872	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0	0	都支支出金	0	0	0	0	0
		扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	0
		補助費等	740	60	▲680	4,382	4,784	402	使用料及び手数料	4,382	4,784	402	
		減価償却費	15,930	15,930	0	25,301	9,667	▲15,634	その他	25,301	9,667	▲15,634	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	29,683	14,451	▲15,232	行政収入合計(a)	29,683	14,451	▲15,232	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲154,660	▲187,084	▲32,424	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲154,660	▲187,084	▲32,424	
		その他行政費用	0	0	0	▲3,966	▲3,786	180	金融収支差額(d)	▲3,966	▲3,786	180	
		行政費用合計(b)	184,343	201,535	17,192	▲158,626	▲190,870	▲32,244	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲158,626	▲190,870	▲32,244	
		特別費用(g)	0	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲158,626	▲190,870	▲32,244	当期収支差額(e)+(h)	▲158,626	▲190,870	▲32,244	
貸借対照表	固定資産	勘定科目			H29年度	H30年度	差額	勘定科目			H29年度	H30年度	差額
		収入未済	12,805	0	▲12,805	流動負債	176,951	190,417	13,466	還付未済金	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	176,951	190,417	13,466	賞与引当金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		有形固定資産	102,231	102,231	0	固定負債	1,680,513	1,490,096	▲190,417	特別区債	1,680,513	1,490,096	▲190,417
		土地	102,231	102,231	0	退職給与引当金	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
		建物	1,955,347	1,955,347	0	負債の部合計	1,857,464	1,680,513	▲176,951	正味財産	▲1,670,386	▲1,522,170	148,216
		建物減価償却累計額	▲1,955,347	▲1,955,347	0	正味財産の部合計	▲1,670,386	▲1,522,170	148,216	負債及び正味財産の部合計	187,078	158,343	▲28,735
		工作物等	0	0	0								
		工作物等減価償却累計額	0	0	0								
		無形固定資産	0	0	0								
		建設仮勘定	0	0	0								
その他の固定資産	72,042	56,112	▲15,930										
資産の部合計	187,078	158,343	▲28,735										
備考	行政費用では、委託料として物件費が多くなっている。主な内訳としては、指定管理者委託料に153,263千円、減免補填等の支出としてその他委託料に14,399千円かかっている。行政収入その他において、29年度に比べ15,634千円減少している理由は、29年度は指定管理期間満了による引き継ぎのため、利用料金前受金をいったん区へ収入したためである。												

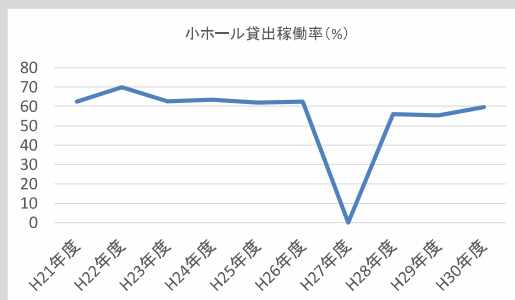
	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	100	100	100	100
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	53	53	53	53
	1㎡当たりコスト(円)	-	18,437	18,353	18,483	17,918
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	26	29	16	17
	受益者負担比率(%)	-	28	30	30	26
	開館1日当たりコスト(円)	-	517,268	514,925	518,553	553,316
	利用者1人当たりコスト(円)	-	667	635	657	699
	区民1人当たりコスト(円)	-	869	900	859	917
備考	30年度は、1㎡当たりのコスト、開館1日当たりのコスト、利用者1日当たりのコストが前年度に比べ増えている。主な理由は、備品買替に伴い行政費用が増加したためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 0	122,000	122,000	122,000	122,000
		実績値 0	97,540	87,483	64,509	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成2年度: 荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度: 指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	○平成4年度(第1回)、平成27年度(第2回)に大規模改修を実施した。 ○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。 ○ホールや会議室また、その利用方法について広く周知し、利用者の拡大を図る。					
課題に対する現時点での考え	○平成30年4月から新たな指定管理者となったことから、より一層の体制強化を図り、区民ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。 ○施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、実施していく。					
議会、利用者等からの意見	平成27年度9月会議 「区民利用の立場から見た区政会館の在り方」について					



平成27年度は大規模改修のため1年間休館



平成27年度は大規模改修のため1年間休館

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-02		
施設名	日暮里サニーホール				
所在地	東日暮里五丁目50番5号 ホテルラングウッド4階・5階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成元年	2,000,000	0	0	2,000,000
増改築①					
増改築②					
併設施設	-				
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成元年2月9日	職員数	14人	0人	
構造	SRC造		階層	地上13階、地下3階の内、4・5階部分	
面積	敷地面積		3100.03㎡の一部		
	延床面積		23562.71㎡の内、2311.28㎡		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	経理課				
根拠法令等 設置条例	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	3台	バリアフリー 対応状況	● エレベーター ○ 点字ブロック	● だれでもトイレ ○ スロープ	
駐輪場の状況	無				



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○サニーホールの施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び一般市民					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始(12月29日～1月3日)及び工事、保守点検日				
施設基本データ等	総利用者数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
	ホール年間利用者数(人)	154,274	140,332	145,404	140,554	142,097
	サロン年間利用者数(人)	70,939	63,429	69,066	67,223	66,573
	ホール稼働率(%)	33,795	32,735	34,131	33,531	33,466
	サロン稼働率(%)	71	71	69	65	68
	文化、芸能のイベント件数(件)	91	91	90	94	92
		650	631	650	604	628
に指定管理等費用	指定管理料(千円)	41,682	37,725	36,607	40,016	44,502
	指定管理者の支出合計(千円)	92,678	91,173	89,835	98,127	97,569
	指定管理者の人員費(千円)	46,718	46,242	51,870	45,347	45,126
	指定管理者の利用料収入(千円)	59,291	56,923	57,466	56,760	54,500
備考						

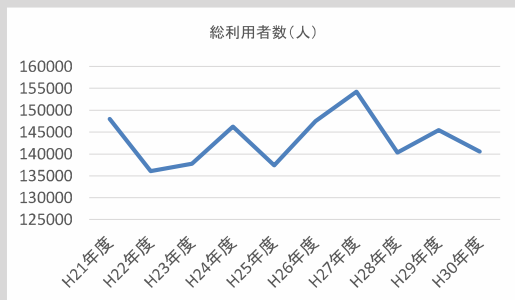
III 財務諸表

		勘定科目			H29年度	H30年度	差額	(単位:千円)				
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0			行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	49,829	77,601	27,772	国庫支出金	0		0	0		
		維持補修費	0	429	429	都支支出金	0		0	0		
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0		0	0		
		補助費等	12,127	7,175	▲ 4,952	使用料及び手数料	38		22	▲ 16		
		減価償却費	36,010	36,010	0	その他	27,137		5,723	▲ 21,414		
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	27,175		5,745	▲ 21,430		
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 70,791		▲ 115,470	▲ 44,679		
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0		0	0		
		行政費用合計(b)	97,966	121,215	23,249	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 70,791		▲ 115,470	▲ 44,679		
		特別費用(g)	0	6,018	6,018	特別収入(f)	0		0	0		
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 6,018	▲ 6,018	当期収支差額(e)+(h)	▲ 70,791		▲ 121,488	▲ 50,697		
		貸借対照表	固定資産	収入未済	27,245	0	▲ 27,245 <th>流動負債</th> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td>		流動負債	0	0	0
不納欠損引当金	0			0	0	還付未済金	0	0	0			
その他の流動資産	0			0	0	特別区債	0	0	0			
有形固定資産	289,414			253,404	▲ 36,010	賞与引当金	0	0	0			
土地	0			0	0	その他の流動負債	0	0	0			
建物	1,333,703			1,333,703	0	固定負債	0	0	0			
建物減価償却累計額	▲ 1,044,290			▲ 1,080,300	▲ 36,010	特別区債	0	0	0			
工作物等	0			0	0	退職給与引当金	0	0	0			
工作物等減価償却累計額	0			0	0	その他の固定負債	0	0	0			
無形固定資産	0			0	0	負債の部合計	0	0	0			
建設仮勘定	2,938	2,938	0	正味財産	322,597	259,342	▲ 63,255					
その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	322,597	259,342	▲ 63,255					
資産の部合計	322,597	259,342	▲ 63,255	負債及び正味財産の部合計	322,597	259,342	▲ 63,255					
備考	行政費用では、委託料として物件費が多くなっている。主な内訳としては、指定管理者委託料に40,016千円、減免補填等の支出としてその他委託料に6,202千円かかっている。行政収入その他において、29年度に比べ21,414千円減少している理由は、29年度は指定管理期間満了による引き継ぎのため、利用料金前受金を一旦区へ収入したためである。											

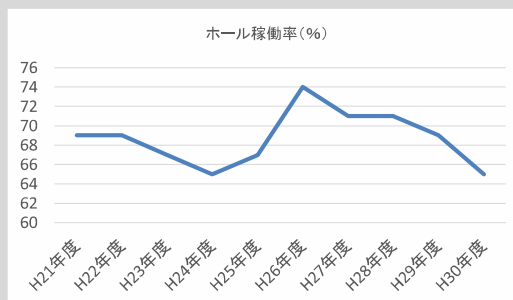
	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	76	78.3	81.0	81
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	35.0	35.0	35.0	35.0
	1㎡当たりコスト(円)	-	41,397	42,386	41,796	40,727
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	51	57.7	46.2	46
	受益者負担比率(%)	-	38	38.0	37	37
	開館1日当たりコスト(円)	-	266,521	272,886	269,838	262,940
	利用者1人当たりコスト(円)	-	682	674	687	662
	区民1人当たりコスト(円)	-	449	459	447	436
備考	30年度は、1㎡当たりのコスト、人にかかるコストの割合、受益者負担率、開館1日当たりのコスト、区民1人当たりのコストが前年度と比べ減っているが、主な理由は29年度と比較して30年度は共用部分計画修繕費や管理費等が減少したためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 66,000	67,000	65,000	72,000	80,000
	実績値	66,078	63,005	70,790	63,691	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成1年度: 荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度: 指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	○開館から30年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める。修繕の実施にあたっては、指定管理者とホテルラングウッドとの連絡・調整が必要である。 ○利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。					
課題に対する現時点での考え	○関係部署や施設と調整し、今後の修繕計画について検討する。 ○平成30年4月から新たな指定管理者となったことから、より一層の体制強化を図り、区民ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。					
議会、利用者等からの意見						



平成27年度は荒川区民会館が休館であったため、利用者が流れ、他の年度に比べて総利用人数が突出している。



ホールは例年、高い稼働率を維持している。

令和元年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-01-03		
施設名	ムーブ町屋				
所在地	荒川七丁目50番9号 センターまちや3階・4階				
部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成8年	4,970,000	0	3,470,000	1,500,000
増改築①					
増改築②					
併設施設	-				
竣工年月日			常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成8年6月1日	職員数	11人	0人	
構造	SRC造		階層	地上22階、地下2階の内、3・4階部分	
面積	敷地面積		3221.29㎡の一部		
	延床面積		25557.45㎡の内、2797.17㎡		
設置目的・経緯	区民文化の向上と地域のコミュニティ活動の促進を図る。				
関連部署	交通対策課				
根拠法令等 設置条例	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則				
駐車場の状況	1台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	22台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	(株) コングレ	期間	平成30年4月1日 令和5年3月31日	から まで	
事業内容	○文化活動の実施に関する事業 ○文化活動及び地域コミュニティ活動に関する相談及び情報の提供に関する事業 ○ムーブ町屋の施設の利用に関する事業 ○その他区長が必要と認める事業					
対象者	区民及び一般市民					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後10時まで				
	休日	年末年始（12月29日～1月3日）及び工事、保守点検日				
施設基本データ等	総利用人数（人）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度（見込み）
	ホール年間利用者数（人）	124,904	84,666	84,786	74,027	81,160
	ギャラリー年間利用者数（人）	56,375	40,620	40,728	37,465	39,604
	ムーブホール稼働率（%）	48,315	30,134	31,453	17,907	26,498
	文化、芸能のイベント数（件）	70	60	64	56	60
		53	54	53	36	48
		519	597	600	681	626
に指定管理 等する費用	指定管理料（千円）	35,011	35,524	35,550	34,030	34,030
	指定管理者の支出合計（千円）	64,913	63,250	64,914	64,959	60,160
	指定管理者の人員費（千円）	32,259	29,350	38,228	35,878	31,878
	指定管理者の利用料収入（千円）	32,649	31,447	32,144	27,723	30,650
備考						

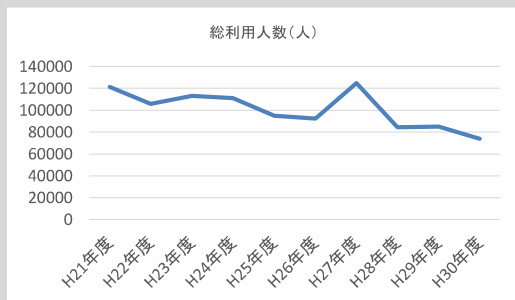
III 財務諸表

		（単位：千円）					（単位：千円）		
行政コスト計算書	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	
		給与関係費	0	0		0	地方税等	0	0
	物件費	40,188	46,789	6,601	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	11,635	294	▲ 11,341	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	41,407	58,600	17,193	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	11,248	38	▲ 11,210	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	11,248	38	▲ 11,210	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 172,983	▲ 196,646	▲ 23,663	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	184,231	196,684	12,453	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 172,983	▲ 196,646	▲ 23,663	
	特別費用(g)	0	3,382	3,382	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	▲ 3,382	▲ 3,382	当期収支差額(e)+(h)	▲ 172,983	▲ 200,028	▲ 27,045	
貸借対照表	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	勘定科目	H29年度	H30年度	差額	
		収入未済	14,614	0		▲ 14,614	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	有形固定資産	2,885,029	2,794,028	▲ 91,001	賞与引当金	0	0	0	
	土地	1,516,648	1,516,648	0	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	3,370,397	3,370,397	0	固定負債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	▲ 2,002,016	▲ 2,093,017	▲ 91,001	特別区債	0	0	0	
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
	建設仮勘定	2,260	2,260	0	正味財産	2,901,903	2,796,288	▲ 105,615	
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,901,903	2,796,288	▲ 105,615	
資産の部合計	2,901,903	2,796,288	▲ 105,615	負債及び正味財産の部合計	2,901,903	2,796,288	▲ 105,615		
備考	行政費用では、委託料として物件費が多くなっている。主な内訳としては、指定管理者委託料に34,030千円、減価補填等の支出としてその他委託料に1,889千円かかっている。行政収入その他において、29年度に比べ11,210千円減少している理由は、29年度は指定管理期間満了による引き継ぎのため、利用料金前受金を一旦区へ収入したためである。								

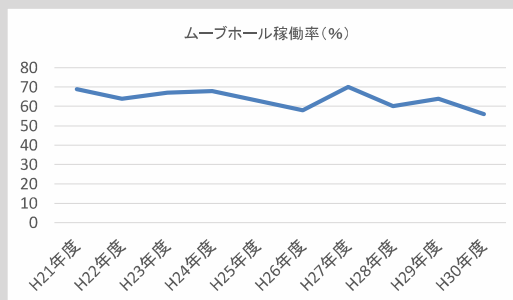
	指標	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	57	59.4	62.1	62
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	26	26	26.3	26.3
	1㎡当たりコスト(円)	-	59,795	65,863	65,387	72,294
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	-	46	58.9	55.2	53
	受益者負担比率(%)	-	16	15.0	13	13
	利用者1人当たりのコスト(円)	-	1,975	2,173	2,471	2,492
	開館1日当たりのコスト(円)	-	465,894	513,178	510,891	564,857
	区民1人当たりコスト(円)	-	784	858	847	936
備考	30年度は、1㎡当たりコスト、人にかかるコストの割合、受益者負担比率、開館1日当たりのコスト、区民1人当たりのコストが前年度と比べて減っているが、主な理由は29年度は冷暖房機取替え、防犯カメラ設置、電話設備改修等の維持補修を行ったのに対し、30年度は日常的な維持補修のみだったためである。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度(見込み)
	文化芸能の利用人数	目標値 30,000	38,000	32,000	32,500	50,000
	実績値	37,345	30,380	31,191	27,389	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成8年度: 荒川区地域振興公社へ運営委託、平成18年度: 指定管理者制度導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	施設利用者へのきめ細やかな対応					
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開館から23年を経て、施設全体の老朽化が目立ち始めているため、適切な保守により維持管理に努める。修繕実施にあたっては、指定管理者とセンターまちや管理組合との連絡・調整が必要である。</li> <li>○ 利用者から日々寄せられる多様化するニーズへの対応が求められる。</li> <li>○ ホール等また、その利用方法を広く周知し、利用者の拡大を図る。</li> </ul>					
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係部署や施設と調整し、今後の修繕計画を検討する。</li> <li>○ 平成30年4月から新たな指定管理者となったことから、より一層の体制強化を図り、区民ニーズに柔軟に対応していけるよう、指定管理者と施設管理やサービス向上策について緊密な連携を図っていく。</li> <li>○ 施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議し、実施していく。</li> </ul>					
議会、利用者等からの意見						



平成27年度は荒川区民会館が休館であったため、利用者が流れ、他の年度と比べて総利用人数が突出している。



平成27年度は荒川区民会館休館に伴う利用人数の増加で、ムーブホール稼働率も向上した。